

風雲! 飯櫃城

漫画・北村 秀

時は戦国時代、関東の権力を握っていた北条氏政が豊臣秀吉に亡ぼされ、北条氏と共に戦っていた上総地域の城主達も次々と降伏していった。

徳川家康

保科正直
正光親子
よ!

多古城を
与えるので
上総下総の
領地をうまく
治めよ!

むっ：
戦いの準備を
いたせい!

この土地は
先祖代々
守ってきた
宝なんだ

殿
戦いま
しょう!

そのころ飯櫃城では
城主山室光勝のもとに
近隣の抵抗する武士
たちが集まっていた。

保科正直

ははっ

ありがたき
幸せ!

保科正光



堀をもっと深く
せいっ

柵を増やせっ
弓部隊の足場を
作れい!

大阪城なんか
負けてたまるか



成敗
いたす!

出陣
じゃあ!



その報が保科正直の
もとに届いた。

何だと!



28日午前3時
しかし要所にて弓鉄砲で
待ち構えていた光勝の部隊が
一斉に迎え撃った。



天正18年(1590)12月27日
保科軍の火矢により
飯櫃城下町は猛火に包まれ
保科軍は大手門突入をめざした。

だめだ
迂回
いたす!!

狙い撃たれた保科軍は
大手門までもたどりつけ
なかつた。



山室光勝

飯櫃城主。芝山地域を治め人望厚く郷土を愛する武士。



山室光慶

光勝の長男。紅顔の若武者。



お藤

光慶の妻。菱田生まれの絶世の美人。



その時

火事だッ

後方より
火の手が上がって
おります!!

裏切り
かッ!!



こっちも
駄目だッ

退却だッ



いまが好機!とばかり
保科軍は大手門に突入



この放火をしている人物は
35年前に山室光勝の父氏勝が
亡ぼした多古城主牛尾胤仲の
妾腹牛尾熊助であった。
敵討ちの機会を窺がって二の丸に
あった宝城寺の裏に隠れ住んで
いたのだった。



父上!

おまえ達は
裏から逃げ
なさい!

光慶!
お藤!



二の丸が
落とされ
ました!!



怒賀家忠
山室家三代に仕えた歴戦の雄。齢八十。

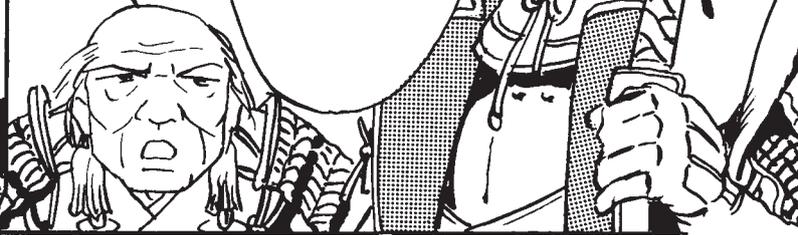


殿は逃れて
再興のときを
お待ち下さい！

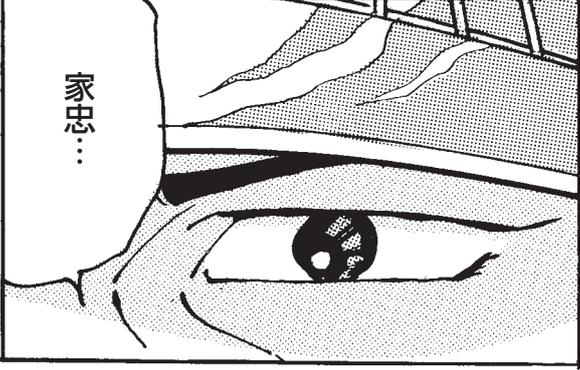
老い先短い私が
影武者となり
ます

お待ち下さい
殿！

さあ
最期の戦いに
参ろうぞ！



怒賀忠重
家忠の長男。忠義に厚く武芸に秀でる。



家忠…



何と
申す！

さあ
兜をお貸し
下さい！



汝らには
天罰が下る
ぞ！！

秀吉のような
神の血を引かない
者が天下を治める
ことはできないッ

儂は
清和天皇の
血を引く
山室光勝
じゃあッ



覚悟の
最期だ



腹切りの
手本とい
たせい！！

大将の首級をとったぞ!!

めめめ

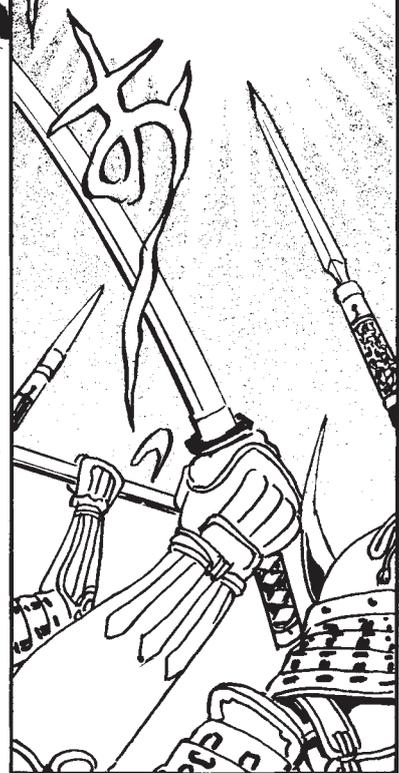
参りましよう殿...

馬を貸して下さい...

多勢に無勢か!

敵です!!

私が喰いとめます殿は早く!!



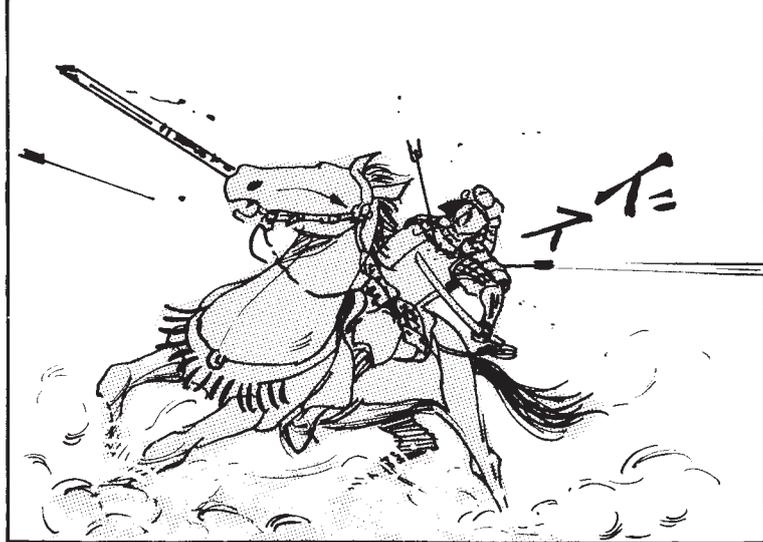
お達者で!

忠重!

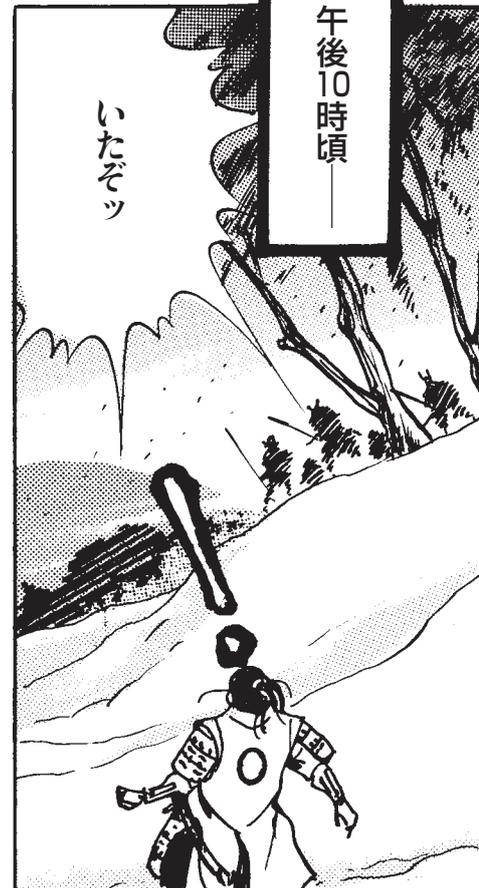
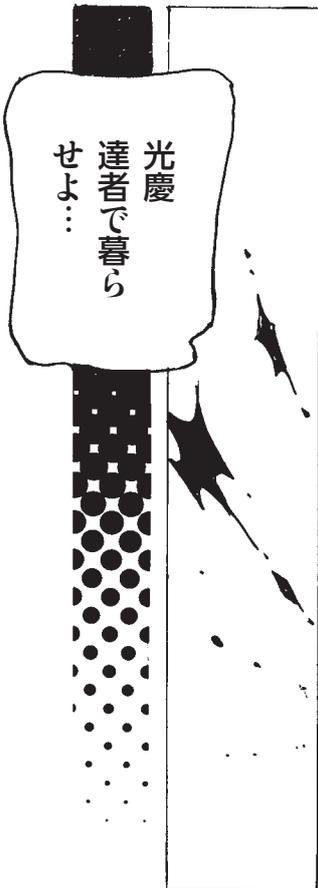
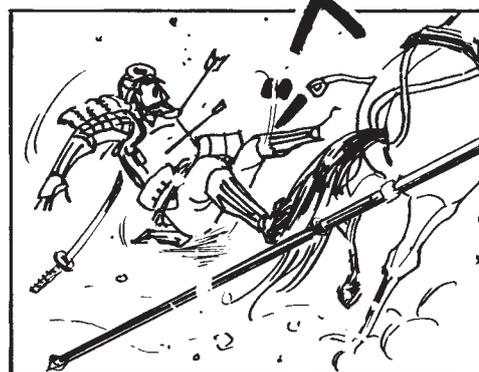
家中に続きお前まで...

やあ





とのオオオ...



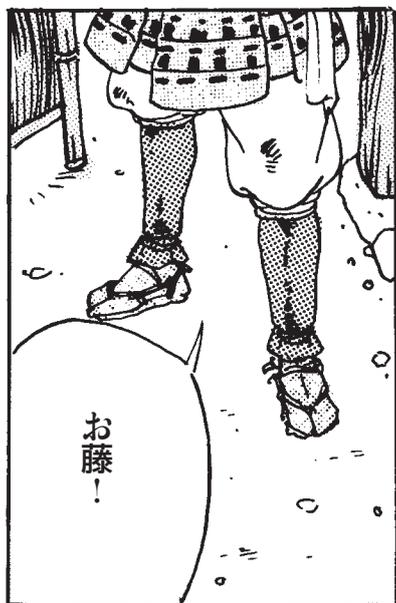
午後10時頃

芝山に生きた祖先たちの魂は今も脈々と受け継がれている

菱田村
獅子倉荒五郎の
屋敷



母上
父上は
無事で
しょうか？



お藤！



光慶様！

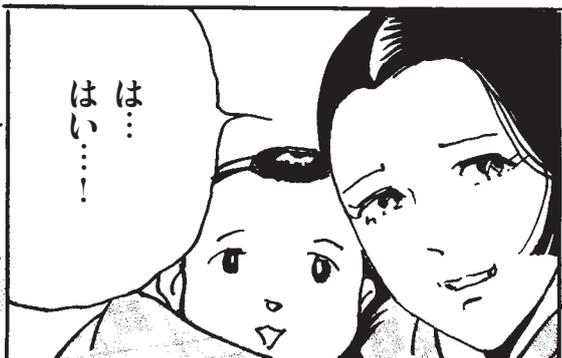
父上！

これから400年後
見上げた青空を飛行機が
飛び交うことになるのです。



飯櫃の城は
燃えてしまっ
た……

これからは
農民として
いきまじょう



は……
は……

次回があれば
戦国骨肉の争い！いとこ牛尾胤仲との死闘！